

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称		令和7年度新門司沖土砂処分場(3工区)技術検討業務				
業 務 概 要	業 務 名 称	業 務 内 容	単位	数量	摘 要	
	新門司沖土砂処分場(3工区)技術検討業務					
	計画準備	計画準備	式	1		
	土砂受入れ残量の正確な予測	資料収集整理 土砂強制移動等に伴う高精度な沈下予測解析 既設余水処理施設の移設を考慮した埋立解析予測	式 式 式	1 1 1		
	堤体の特性確認	堤体の諸特性の整理 堤体沈下対策の検討	式 式	1 1		
	全体工程の検討	竣工に向けた詳細な沈下解析の実施 竣工に向けた具体的検討	式 式	1 1		
	技術検討会の開催	技術検討会の開催 技術検討会資料の作成	回 式	2 1		
	受入容量拡大方策資料作成	受入容量拡大方策資料作成	式	1		
	協議・報告	協議・報告	回	4	事前協議1回 中間報告2回 最終報告1回	
	成果物	業務完成図書作成	式	1		
契約担当官等の 氏名並びに所属する 部局の名称及び 所 在 地		分任支出負担行為担当官 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所長 鈴木 賢治 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所 北九州市門司区西海岸1-4-40				
契 約 年 月 日		令和7年7月10日				
契 約 業 者 名		令和7年度新門司沖土砂処分場(3工区)技術検討業務 沿岸技術研究センター・日建設計設計共同体 代表事業者 一般財団法人 沿岸技術研究センター				
契約業者の住所		東京都港区西新橋一丁目14番2号				
契 約 金 額		31,350,000 円(税込み)				
予 定 価 格		31,350,000 円(税込み)				
随意契約によること とした理由		本業務を的確かつ円滑に実施するためには、軟弱な浚渫土砂を用いた埋立地における高精度の沈下予測や、これに基づく処分場の減容化方策に関する知見、加えて、軟弱地盤上に設置された機械脱水処理土による築堤の高精度な安定性・材料特性の評価に関する豊富な業務実績等を有している必要がある。 以上のことから、プロポーザル方式により、契約内容並びに契約手続きを公示し、参加表明業者においては、予定技術者の経験及び能力(技術者資格等、業務執行技術力)、実施方針(業務理解度、実施手順等)、特定テーマに対する技術提案(的確性、実現性)の提出を求めるとともに、予定技術者へのヒアリングを行うことにより、専門技術力の確認、本業務の遂行能力等を評価したものである。 建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、「既設余水処理能力を考慮した土砂強制移動に伴う高精度な沈下予測解析を行うにあたっての課題と対応策」に関する着目点の設定、具体的な対応策の提案を評価し、令和7年度新門司沖土砂処分場(3工区)技術検討業務沿岸技術研究センター・日建設計設計共同体が最適であると判断されたことから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い、円滑な遂行を図るものである。				

業 務 場 所	—
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間（ 自 ）	令和7年7月10日
履 行 期 間（ 至 ）	令和8年3月25日
備 考	